



ふれあい工房

テープカット



3 月定例会/目次

議会の動き	一般質問	予算の審議	18年度予算	3月定例会
16	6 ～ 15	4 ～ 5	3	2

おおさきかみじま 議会だより

第12号/2006年5月8日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX (08466) 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

3月定例会

平成18年第1回大崎上島町議会は、3月8日から24日までの会期で開きました。

藤原町長の所信表明を受け、18年度一般会計と老人保健特別会計など11特別会計予算と、17年度一般会計補正予算と国民健康保険特別会計など9特別会計補正予算をはじめ、条例改正など多くの議案を審議しました。18年度年度一般会計と国民保護協議会条例その対策本部・緊急対処事態対策本部条例、ひとり親、重度心身障害者医療費改正や中学校統合条例は賛成多数でその他の議案は提案どおり可決した。



3月定例会で決まった主なこと

- ◎大崎上島町国民保護協議会条例
- ◎知的障害者授産施設条例（設置場所は大串、ふれあい農園をふれあい工房に名称変更）
- ◎中学校統合条例（H21年4月町内3中学校を大崎上島中学校に統合）
- ◎ビーチバレーボールコート設置条例（設置場所は大串）
- ◎廃棄物の処理、清掃の条例改正（ごみの収集変更とごみ袋をビニール製）
- ◎アンテナショップ使用料改正（無料から月21000円に）

平成18年度一般会計

78億2557万円

歳入

(単位：千円)

区 分			18 年 度
財 源 内 訳	1	町 税	15億4229万6
	2	地 方 譲 与 税	1億2128万5
	3	利 子 割 交 付 税	316万7
	4	配 当 割 交 付 金	236万8
	5	株式等譲渡所得交付金	108万9
	6	地方消費税交付金	9302万6
	7	自動車取得税交付金	3251万8
	8	地方特例交付金	2103万8
	9	地方交付税	24億0000万0
	10	交通安全対策特例交付金	86万1
	11	分担金及び負担金	1億1948万2
	12	使用料及び手数料	7442万9
	13	国 庫 支 出 金	3億6683万0
	14	県 支 出 金	4億3521万2
	15	財 産 収 入	1128万3
	16	寄 付 金	6
	17	繰 入 金	8億7662万3
	18	繰 越 金	1
	19	諸 収 入	1億2736万0
	20	町 債	15億9670万0
歳 入 合 計			78億2557万4

歳出

(単位：千円)

区 分			18 年 度
1	議 会 費		9421万5
2	総 務 費		12億3112万5
3	民 生 費		13億3104万5
4	衛 生 費		8億1347万6
5	労 働 費		1500万0
6	農 林 水 産 業 費		5億5236万4
7	商 工 費		9769万5
8	土 木 費		8億1075万4
9	消 防 費		6億3233万1
10	教 育 費		6億3372万2
11	災 害 復 旧 費		63万3
12	公 債 費		16億1021万3
13	諸 支 出 費		1
14	予 備 費		300万0
歳 出 合 計			78億2557万4

特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険事業	13億7910万4	漁業集落排水事業	1億5737万7
介護保険事業	11億8172万3	港湾管理事業	1499万0
老人保健事業	21億1057万4	漁港管理事業	554万5
簡易水道事業	6億8581万1	交通事業	6043万8
公共下水道事業	3億3535万0	干拓地管理事業	6561万6
農業集落排水事業	5608万1		

主なやりとり



おと姫バス

問 定住促進と定住者の農地利用の取り組みは。

答 農業、商工観光分野など、情報をお互いに共有できるようなやっていきます。農地利用の要望があれば検討します。

問 大崎上島文化センターの利用状況は。

答 ホールを使用した団体が百数団体あります。

問 コミュニティバスの運行事業等に関しNPOから質問書が出ているが内容は。

答 島内のバス交通の問題、船便の懸案や提言も含めた内容です。運行に関しては将来の財政負担など、いろんな問題を検討し合って改善できる部分は努力します。

問 民生費国庫負担金が約1千200万円の減額であるが、利用者の負担と町の負担がふえるのか。

答 国などから負担金が減るため重度障害者など一部負担することになりました。

問 国民保護計画の策定は

答 県、周辺市町の状況を見ながら検討します。

問 ふるさとを愛する心をこどもたちに定着させるため、学校給食で地元の産物を利用することが必要では。

答 学校給食の地産地消は、これまでにも随分検討しました。米の場合、保管が保冷庫なので、納入できませんでした。

栄養士と関係機関と協議しながら、検討を進めていきます。

問 入札率の推移で億単位の予算が浮くが、財政的な面からも考えるべきでは。

指名競争入札によらない入札を年に何回か実施をして、その動向を見て方向を決めては。

答 入札は予定価格の96%~98%ぐらいです。

過疎地域では、公共事業による部分が大きい。島内企業の育成を考えればある程度適正な利潤というものを確保する必要がある。

同じ行政区域の中で、例えば旧何々町であったんだからその業者さんだけで優先的にというふうなことは恐らく通らないようになる。従来までの指名競争入札プラス総合評価で検討します。

問 社協の予算が削減されているが。

答 社協の合併後、整理したためです。

問 ヘリコプター基地の進入道路の舗装は。

答 早急に対処します。

問 介護保険の改正でラングが変わり、介護ベットの利用できない人が出る可能性等の周知は。

答 本人に直接知らせるとともに広報等で周知します。



問 ごみの収集変更が、4月から実施されるが、守られない場合は。

答 状況を見て6月に検討します。



ごみの分別収集

問 健康診断の検診率のアップする検討は。

答 40歳から64歳の検診率10%を21%に、65歳以上は25%なので55%を目指し、全体を上げるよう努力します。

問 商工会の合併に関し何故60万円の補助金が必要か。

答 合併協議会の事業費で視察、資料や看板の費用です。

わが町の予算

問 若者定住、リーダー研修の補助金は。

答 ソーラン会・NPOながいき委員会の2団体に80万円出しています。



ソーラン会の活動

問 今年度末に公共下水は600戸加入できるようにするが、下水道加入の目標戸数は。

答 できるだけ加入するよう努力します。

問 きえ温泉の使用料は。

答 1千015万円です。

問 工事請負費で補償費を出し、違法な支出となっているがチェックはどうなっているのか。

答 チェックを怠っておりません。今後は支出科目を間違わないように気をつけます。

問 ふれあいの館の利用状況は。

答 2月末で1万1,511人です。

問 フェリー回数券10枚2割引きの発行を山陽商船等に要望を。

答 船会社の方へ要望していきます。

問 東野保健福祉センターと木江福祉センター2カ所の統合は。

答 1カ所に事務所を移転することが一番いいのですが、社会福祉協議会自体の問題もありますし協議します。

問 果樹園が廃園になっていきます。そのまま置いておくのがけ崩れの恐れがあるので、補助金制度で植林としては。

答 地権者の意向もあるが農業委員会と、県と協議しながら検討します。

問 報道によれば国民年金支給金額より生活保護の支給が高いのではといわれているが、事実なのか。

答 生活保護の場合は、医療費、国保税、介護保険料等不要ですが、一概には比較できません。

問 障害者授産施設の畑などの整備は。

答 かん水用井戸70万円、ポンプ30万円、簡易トイレ95万円、中古トラクター30万円とまさ土の購入費200万円を計上しています。

問 防火水槽が足りないのでは。毎年3基ずつの予算措置をすべきでは。

答 設置場所の確保等ができません。予算化をします。

問 簡単な工事は設計委託料を組まずに、仕様書で見積もり入札できるのでは。

答 職員で対応できる場合があるのでは。

問 支出負担行為の適正化を行うには総務課長、及び収入役のチェックを。

答 ルーズな事務処理を行っていた点では大変申し訳ありません。十分反省をして、今後こういうことのないようにします。

問 明石栈橋の改善は。検討します。



明石栈橋

問 委員会の中で言われたことは、少なくとも2年以内に整理すべきでは。

答 分かりました。

問 総務課の消防担当は何人か。消防署新築時に町職員1人を出向させるべきでは。

答 1人ですが消防だけでなくほかの業務も受け持つております。出向する必要はないと思います。



町政を問う

問

土砂搬入を規制する町条例の改正が必要では

答

改正を含め、早急に県と協議



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司

質問（中村議員）

島の財産である豊かな自然を守ることは非常に重要です。

新年度から町外の建設残土搬入を基本的に認めないとの決断は大いに評価されますが、県の許認可を受けた場合、町は関与できないのが現実です。

町条例を早急に改正し、地域の特性や環境を守る体制を構築すべきでは。

答弁（町長）

一昨年、県の土砂搬入に関する条例が制定され、このような現状が起こっています。しかし、条例の趣旨

問

定住促進・新年度の具体的取組みは

答

県の定住促進協議会に参加しながら進めます

質問（中村議員）

合併直後から、繰り返し窓口設置や空き家対策について提言してきましたが、

新年度の予算にも具体的骨格は示されていません。

これまでの取り組みの経過と、今後の具体的方針は。

答弁（企画課長）

空き家対策について数値は把握しましたが、現実的事業は準備していません。今年度、県の協議会が設立されるということから、

再質問（中村議員）

こうした事業こそ、地元NPOや住民団体に委託し、受け入れ態勢の整備を急ぐべきでは。

再答弁（町長）

現在活動されているNPO法人などと、行政の持つ情報を共有しながら、起動させるよう取り組みます。

問

利用可能な干拓地の早期活用を

答

公園・スポーツ・農業対策・定住促進への活用を図りたい

質問（中村議員）

利用可能と思われる干拓地の大部分の活用計画が立てられていません。

早期の活用を実現することが必要では。

答弁（町長）

現在搬入されている土砂で、干拓地の半分以上が整備できると思っており、活用を進める時期です。道路・水路の整備を進めながら、公園・スポーツな



大串干拓地

どの活用と併せ、農業の法人化や定住促進などの活用について議論を進めます。

問 質 一

問 再合併か単独町政か

答 再合併は考えていません



わたなべ のりあき 議員
渡辺 年範

質問（渡辺議員）

3町が合併して4年目を迎えます。合併すれば財政状況もよくなると実行された合併ではあるが、現実には国の財政再建政策の中で、地方自治体の財政状況は厳しい状況にあり、再合併の懸念も生まれています。大崎上島町はどうあるべきかとの長期展望に基づいて、行政組織や予算編成の町政運営を決定すべきと考えるが、町として再合併を考えているのか、単独町政でいくのかを問う。

答弁（町長）

現時点の再合併は考えて

いません。島の地域性を十分認識した上で、財政的には苦しいが、町民の皆さんにも理解していただき一緒に頑張って頑張っていきたいと思います。

再質問（渡辺議員）

単独で行く決意なら、それを町民に宣言し、町民の

問 エビ養殖場の埋め立てについて

答 情報を確認しております

質問（渡辺議員）

東野垂水区のえび養殖場を埋め立てる計画があると聞いたが、そのような話があるのか。

答弁（町長）

正式な申請はないが、情報は確認しております。土地の開発指導要綱には、開発行為は、計画の届け出をし、協議するとあり、その事前協議が県の地域事務所に出されています。指導

理解と応援を請い、それに沿った予算作り組織作りをすべきだと思うが。

再答弁（町長）

旧豊田郡が、大きな市へ編入していき、その地域の方は寂しいと言っています。そのような実態が見えてきた今、町民の皆さんも、「少々不便とか窮屈になっても頑張る方がいいぞ」という選択をしてくれると思っています。



エビ養殖場

再質問（渡辺議員）

ります。

もし被害が出た場合、各個人が会社と対応するのは難問である。国家は国民を、行政は住民を守る義務がある。垂水区の総意を聞いて、被害が出る前に行政で守る手段を考えるべきでは。

再答弁（町長）

垂水区役員の方が相談に来て、心配をされております。ただ私的な部分へどこまでということはありませんが、行政として地域の安全と安心の確保という面で、懸念される部分だけは確実に県に伝えていきたいと思っています。

問

農業振興について町の方性は

答

調査中です



辰田 真司 議員

質問（辰田議員）

農業振興については、現在行っている事業では、就

農促進することになっていません。国の方針は法人化・大型化ですが、町の方性はどのような方向性になるのか伺います。
また、基盤整備事業を行い就農の機会を広げるべきと思います。町長の考えを伺います。

答弁（町長）

国の方針は法人化・集約

問

町道の改良について

答

開発基金で先行取得します



松原 茂 議員

質問（松原議員）

町長の所信表明において、公共事業を主とした建設事業については：（中略）：執行を計画いたしておりますと表明されましたが、新年度予算がついても良い箇所には町道山尻線があります。この線については、旧町時

問

大串の潮受堤防の所管換えについて積極的に国・県へ

答

難しい状況です

質問（辰田議員）

この問題については、町長が就任直後にも要望し、難しいことは理解できます。しかし、取得し十数年経過しています。担当者も変わっています。本年度より道路改良が始まります。この機会

に再度所管換えの要望を強くすべきでは。

答弁（町長）

今の時代背景から非常に難しいというのが状況ですが、海岸保全面からも国県に強く要望していただきたいと思っています。

問

大串干拓地内に菜園付き宅地造成を

答

地域・議会と相談して考える

質問（辰田議員）

現在、東広島市の雇用は著しいものがあります。本町からは通勤圏内です。大串干拓地も周辺整備の段階に入っており、企業誘致はなかなか望めません。通勤可能な地域としての人口増は考えられます。それには住居が必要です。権利関係のはっきりしている干拓地内での菜園付き宅

答弁（町長）

定住促進に結びつくような仕組みがとれば一番望ましいと思います。まず、一次的に道路整備を進めます。道路整備にあわせ土地の活用ということが具体的に考えられる状況になります。どこが適地かというこ



潮受堤防

とも含め、地域の方々と、また議会とも相談しながら決めたいと思います。

代にも測量等済ませており、過疎計画の一環として、新年度予算で設計調査、用地の購入をすべきではと思うが、全く予算化されてないようです。補正で対応しようと考えているのか。町長の所信を伺います。

答弁（町長）

この路線については、要望を受けて17年度に測量設計ということで、用地の丈量測量も済んでいるようで

す。当初予算で用地買収費を含めて工事費用を計上していませんが、用地についてはまだ、若干、不透明さが一部残っている部分もあり、まず、開発基金で用地の先行取得をするように考えています。事業の見通しが立った時点でひとつくりにして合併特例債なり過疎債の位置づけをしようという思いでありますので、理解いただきたい。

問 中学校統合後の教育ビジョンは

（答） 意見を集約し、より良いビジョンを立てていく



ふくまさ すすむ 議員 福増 進

質問（福増議員）

中学校統合についての意見交換会があった、子どもの学力を低下させず、

逆に今以上に学力、体力等向上する事を望むといった声に教育委員会として、また教育長個人としても、今後の教育に関するビジョンを示していただきたい。

答弁（教育長）

知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成が当然大きな課題であります。具体的に私の今考えていることを述べさせていただきますと、

問 イノシシ狩りの猟師のモラルは

（答） 事故の際は対応が速やかにできる体制をとっていく

質問（福増議員）

猟犬による被害があり不安に思っている住民の方々がおられますが、町として、今後の対応を、県、また地元猟友会等との協議や対策を実施していくべきと考えますが、町長の考えを伺います。

答弁（町長）

他県から来る場合の対策として、港で事故防止のお願いを啓発していき、起こったときの対応を速やかにできる体制をとっていきます。また、狩猟期間中は、絶えずそのような認識を地域事務所、警察、町、猟友会が持ち続けることで、進めていきます。



大崎中学校

問 本庁庁舎周辺の整備は

（答） 早急に整備してもらうよう県へ強く要望する

質問（福増議員）

本庁舎周辺は、駐車場の整備を実施し、本庁機能も少しずつ充実したものとなっていますが、駐車場建設の代替地として使用していた埋立地の利活用について、県へも積極的に働きかけている中で、町の単独部分についてどのように計画しているのか伺います。

答弁（町長）

県の施設としての計画は、駐車場用地として位置づけられております。町としてまず周辺の住居へのほこり対策を実施します。また、健康増進広場として考えています。

そのほかにも、次の質問をしました。

問 新町建設計画の見直しは

（答） 効率的に削減できるものについては削減する

問 最後のお別れのできる清潔な火葬場に

答 18年度で検討します



信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

人間最後にお世話になる火葬場を改築して、島内外の人が待合室で故人の思い出話ができるような清潔な場所にすべきでは。



火葬場「大峰苑」

問 地域と子ども見守り対策について

答 安全腕章を地域団体にお問い合わせしました

質問（信谷議員）

子ども達の見守り対策の中の安全腕章配布が地域の住民、区長、保護者とうまく連携がとれたのか？また、先生との接点がすくないため不審者と間違われる可能性もあります。新人先生が

答弁（町長）

土地、水の確保など懸念はあるが、全体的なレイアウトの中で、18年度で進めていきます。

問 ストックヤードへの通行道路が陥没しているが

答 今年度中に対処します

質問（信谷議員）

ストックヤードへの進入道路が陥没して通行できない状態にあります。いつごろまでに直しますか。

答弁（木江地域振興課長）

陥没は護岸の破損による土砂の吸出しが原因です。護岸の改修は広島県単独事業で、18年度で予定しています。町道の改修については県事業がすんだ後に行いますが、たちまち臨時的に通行できるように対処します。



ストックヤードへの道路



腕章

意見の違いがありました。今後、反省をしながら協力を求めています。

問 持続的な財政運営ができるのか

答 後年度に残せるような財政運営をします

質問（信谷議員）

財政調整積立金などの基金の取り崩し、起債など後年度への負担を十分考慮しながら財政運営をしなければ近い将来予算編成ができなくなるような危惧をするのですが。

答弁（町長）

財政不足を国や県が面倒を見てくれる時代は既になく、執行段階で後年度に負担がないよう財政運営を行い、財政調整積立金などの基金は目減りをさせないよう今後の予算編成をしていきます。



問 説明責任と情報公開を

〔答〕 住民へ理解できるように説明する



あかまつ よしお 赤松 良雄 議員

質問（赤松議員）

北海道ニセコ町では、毎年の予算を全住民に知らせる予算説明書『もっと知りたいことしの仕事』を配布しています。「町の予算は本来、町民の皆さんのものであり、行政には毎年度の予算を皆さんにわかりやすく説明する責任があります。予算説明書の作成は、町民の皆さんが持つ町の情報を知ることのできる権利を明確にするものです。図表や写真を活用し、行政用語ではなく、わかりやすい言葉で説明することを心がけています。」と説明しています。



もっと知りたい ことしの仕事

大崎上島でも予算を町民に説明をしながら一緒に考えていくことをするために、説明責任と情報公開を。

〔答弁（町長）〕
ニセコ町ではどういふうな記載の方法で周知を図っているのか勉強してみたい。町では広報で概要と事業を示し、昨年から財政状況の公表を公示場所において掲示をしている。

地域の要望事項を聞くだけのような懇談会は余り好ましい状態ではない。後年度へ基金の残を持ち越すように予算編成をしています。

問 下水道事業の見直しは

〔答〕 財政負担を考え計画変更を

質問（赤松議員）

① 2006年2月末現在の下水道資料別表1にある。数字について町長はどう考えているか。

② 一般会計の持ち出しは来年度2億2735万6000円。下水道は独立会計です。下水道は独立会計から持ち出ししないのが原則では。

③ 事業をしていない地区に対する説明は。

④ 計画と加入状況での返済計画、収入見込みや維持管理、一般財源、起債償還金等を改めて提示すべきでは。

⑤ 水洗化工事費が100万円近くかかるのでなかなか加入がふえてない。

⑥ 計画方法・技術・設計方法など見直しが必要では。

⑦ 私も反省すべきですが、旧大崎町時代に下水道に全戸入るような収支計算をしていた。新たに作り直しては。

⑧ この市町村も下水道事業は財政上問題が出ている。

答弁（町長）

公営事業会計は赤松議員の言うとおりです。収支はあくまで見込みで作成した。財政負担を十分考えた上での区域の見直し、合併処理浄化槽への変更を考え、加入促進を図っていく。

地域に不公平感が生じないような事業手法を進める。公共は、今言ったら大赤字だけの話かなりません。農集は、皆さんが加入してくれたら、赤字がこれぐらい縮まりますと説明します。

藤原上下水道課長
総計建設費17年度の維持管理費は別表1です。



2006年2月末での下水道資料

		農集（大串）	漁集（沖浦）	公共（中野）
赤松議員 松員問	対象戸数	237戸	580戸	1403戸
	工事済み	237戸	331戸	444戸
	加入数	113戸	80戸	147戸
下水道課 長答	処理場管理費	375万円	617万円	806万円
	管路管理費	485万円	604万円	532万円
	収入	648万円	516万円	1673万円
	総事業費	13,2億円	25,6億円	56,5億円
	工事終了年	2004年	2007年	2012年

問 島の進路について話し合っては

答 話し合いを持つ考えはない



議員 昌 谷本

質問（谷本議員）

町民から、合併から3年が経過し、3町合併後の評価、検証の出来る状態に

ている。周辺町が合併により無くなり、激変した。島をこれからのような方向に持つていくのか、責任者として町長のビジョンが聞きたいと言われる。

島の進路についてどのよう考えるか。

答弁（町長）

当面は独立した町で行く。行政情報の公開は最大限努めるが、それをもとに話し合う予定はありません。

問 佐組島への公共残土の持ち込みについて

答 定期的に現地確認を行う

質問（谷本議員）

佐組島に、昨年11月30日から6年間にわたり残土に



佐組島

よる土砂の埋立申請が出され、昨年末に許可している土砂の確認ができるよう町は対応すべきでは。

答弁（町長）

定期的な現地確認と土壌分析、水質検査など取り組みんでいくよう県と協議を進めていきます。

問 ごみ収集方法の変更

答 2月25日から説明をはじめている

質問（谷本議員）

今年度からはゴミの減量と再利用に向けて、町と町民がともに取り組むことになった。目的を町民に徹底させるとともに、分別収集のあり方について早急に説

明会、啓発活動を行うべきでは。

答弁（町長）

住民に理解し協力していただくよう啓発に努めていきます。

問 沖浦木越住宅一帯の環境改善

答 環境改善に向け皆さんと協議していく

質問（谷本議員）

この一帯は道路が狭く救急車や消防車の進入が難しく、火災など緊急時に迅速な対応が出来ない。低地のため台風時には浸水する。環境改善は三里浜沖造成の住宅用地の活用と関連して検討することだが。

答弁（町長）

町営住宅の分譲も含め、地域全体について関係者と話し合っていきます。



沖浦の木越住宅

問 身寄りのない方の不時の事故に対する対応

答 皆さんの協力を得ながら、町が責任を持つ

質問（谷本議員）

身寄りのない方が、本人に自己決定能力ない状態で不時の事故が起きた場合、町の対応は。

答弁（町長）

自己決定能力を大事に考えているが、ない場合は町が対応していきます。

問 豊野小の答への取り組み

答 今年度までにはまとめた

質問（谷本議員）

西野地区の住民の方と話し合う約束だったが、今後どのように取り組んでいくのか。結論を出す時期についても設定すべきでは。

答弁（教育長）

教育委員会では出来るだけ早い時期に統合すべきという方針で取り組んでいる。今年12月議会までには結論を出します。

問 急激な人口減少の歯止め策について

〔答〕 県と一体になって定住促進を進めます



くまさ たかのり
熊佐 尊徳 議員

質問（熊佐議員）

平成17年国勢調査による

と大崎上島町の人口は893人マイナスで8・8%減の9,238人になりました。合併時の第一次総合計画では17年度の最大減少で9,380人となっていました。したが、それをさらに150人を上回る減少となっています。国全体の少子化の中で、また島という環境の中では増加とか現状維持は困難性がありますが、これだけの減少は異常だと考えます。減少する事によって一番心配する事は医者や寺をはじめ、直接住民に関係

答弁（町長）

人口減少が大きくなると一番の問題は地域のコミュニケーション、連携がそこなわれることだと考えます。人口減少の歯止め策は具体的な施策は見つけにくいですが、県と一体となって情報提供と合わせて定住促進等の条件整備をしていきます。その他、東広島圏域への通勤を考えるため東広島と十分協議します。また遊休農地の有効利用も積極的に活用していきます。



町の将来を担う子どもたち

問 行財政の抜本的改革を早急に

〔答〕 委員会等で協議していきます

質問（熊佐議員）

一般会計の当初予算は78億5574万と昨年度とは約7千万円の減少とはなっておりませんが、今後の国・県からの歳入推計ではこれから先、非常に厳しい予測がされています。行財政改革の必要性は今更言うまでもありませんが、今後の大崎上島町の財政状況を打破

するためには聖域を設けず、あらゆる角度から歳入、歳出の見直しをすべきだと考えます。できれば年間の数値目標を挙げて、その実行を早める事が肝心だと思います。

現在の大崎上島町行政改革推進協議会の状況と、数値目標、また私がたちまち考えている具体的な大きな項目について以下に申し上げますので、町長の考えを聞かせてください。

①委託料、コンサル料の半減。②職員や特別職の給与

や人数削減③各種審議会等の費用弁償の見直し④入札制度、各種補助金の見直し。⑤必要のない残業の廃止。⑥各区、班の再編成。⑦リース料の見直し。⑧一般バス路線とスクールバスの調整。⑨町有財産の払い下げ。⑩滞納の減少。

答弁（町長）

行財政改革については委員会を立ち上げて協議していきます。町民や職員に理解と協力をお願いします。委託料、コンサル料や職員の数補助金、残業手当等は具体的に取り組んでいます。町有財産の処分等は今後検討して行きます。



大崎上島町行政改革推進計画

問 18年度予算について

答 苦労を重ねた予算編成です



どい せいじ 議員
土井田 聖次 議員

質問（土井田議員）

財政状況が厳しい中で18年度一般会計予算が前年度比1・0%減の78億2千557万4千円で編成されているが、ほとんど前年度並みで、予算を見る限り町財政の厳しさがあまり感じ取れない。この状況が続けば、2・3年後には町財政は大変なことになるが、町長のいうスクラップアンドビルドで検討したものがあのかどうか。また今後については。

答弁（町長）

委託料、補助金等は減額に努めており、人件費等は

トータルで6・7%の減であります。スクラップアンドビルドという考えの中で大崎の開発センターを後年の負担を考えて規模を縮小して機能的、能率的に最小限度のものに置き換えることで、維持管理が減額になりますので、建て替えて計

上をしています。
将来の財政状況は、交付税も含めて一般財源が縮小する傾向にありますので、どこかのところを切り詰めていかざるを得ません。
今の状況を推移させていくと基金も当然底をついてくる。そういう状況になって手を上げるということにならないように、住民の方々にも理解を得ながら行政運営をしていきます。



建て替えが決まった開発センター

問 定住促進事業の確立を

答 積極的に取り組みたい

質問（土井田議員）

依然続く過疎化による人口減は町の最も重要な問題で、今までいろいろと施策は講じてきたが、島というハンディもあって、人口減少に歯止めがかからず、むしろ加速しているのが現状です。昨年10月1日に国勢調査が行われ、平成12年から17年の5年間で8・8%減の人口になっています。次の五年先は10%台が予想され、正直人口減を止めるのは容易なことではありませんが、可能な限りその努力をしていかなければいけません。

役場内に定住促進のための窓口を設け、町内外に情報発信をして定住希望者に対し相談、また調査研究・対応できるものは対応して、一人でも多くの方が町に住んでくれるようにしなければならぬと思いますが。



原田区の町営住宅

答弁（町長）

県の18年度の主要施策として交流定住推進施策の戦略的に展開で県が全市町ともども啓発、条件整備を進めてようとする機能が動き出します。定住に結びつくような空き家、宅地化できる土地を県の方に登録し、受け入れ体制の整備を整えていく会議をし、町も積極的にその参画の中で定住促進の視点で取り組みます。

問 幼児教育の義務教育化はどのようなのか

答 義務教育化になれば大きな課題がある



ふじわら たつひで
藤原 龍秀 議員

質問（藤原議員）

今国会に提案されるであろう、教育基本法の改正で義務教育の9年間規定が延長されることが盛り込まれています。そこで伺います。幼児教育の義務教育化は必要でしょうか。また、その背景となっている小一問題は、我が町にはありますか。幼・小連携強化の取り組み



大崎幼稚園

をどう考えるか。小一問題の背景にある地域・家庭の教育力の再生について今後どうするのか。

答弁（教育長）

子ども達をとりまく環境が今まで培われた力がなくなっているのは事実ですから行政側が力をつける手だては要ると思いますが、義務教育化すると授業料が免除になっています。これをどう考えるか。保育園・私立・公立幼稚園という体制でどうするかが大きな課題です。小一問題は、我が町においては顕著な事例はありません。幼小連携は行事面では連携していますが、不十分と思っています。幼稚園の体制の整備が課題です。家庭教育への支援は、福祉課の子育て支援に教育委員会もなんらかの手だてをして保護者とお話をする場を設けたいと思います。

問 温水プールの建設は

答 年度はずれ込んでも進めたい



もりかわ いえただ
森川 家忠 議員

質問（森川家忠議員）

健康増進のための複合施設（温水プール）の建設について、合併当時の計画からいえば、かなり先延ばしになっているようです。

平成18年度の予算案にもこの計画は、入っておりませんが、この温水プールを楽しみに待っている住民も多くおられます。

所信表明で、触れてないので、町長の意見を伺います。

答弁（町長）

管理運営の関係や、後年度負担などについて、もう少し整理し、年間の平準化

した事業の執行を考え、新年度の予算化を見送りしました。

しかし、合併時の新町建設計画の中でも主要な柱のひとつとしての事業でありますので、実施の年度は、ずれ込んでおりますが、進めていきます。

できれば新年度で、施設の周辺整備をします。



複合施設建設予定地

再質問（森川家忠議員）

平成16年度にこの施設の基本計画ができ、それ以降この事業が進捗しないことを住民の方から指摘されています。

平成18年度中に実施設計だけでもかかることができ

再答弁（町長）

平成18年度中は詰めの協議をして行きます。

議会の動き

1月1日から
3月31日までの議会の日程です

1月

- 4日 成人式
- 5日 小中高新春書初め大会
- 8日 出初式
- 11日 竹原広域行政組合予算説明
- 13日 小中高新春書初め大会表彰式
- 18日 広報委員会
- 23日 広島県町村議長会定例議長会(広島市)
- 24日 木江地区造船海運振興協議会
- 25日 産業建設委員会
- 31日 総務福祉文教委員会
- 第一回臨時会

2月

- 2日 広島中央広域行政組合定例会
- 4日 すみれまつり開会式
- 5〜7日 武蔵野交流市町村協議会(千葉県白浜町)
- 9日 竹原市議会と会合
- 13日 産業建設委員会広島陳情
- 15日 竹原広域行政組合総務委員会(竹原市)
- 16日 議会運営委員会
- 17日 竹原広域行政組合環境施設委員会(竹原市)
- 17日 竹原広域行政組合交通対策委員会(竹原市)

3月

- 20日 総務福祉文教委員会
- 22日 広島県町村議長会議員研修会(広島市)
- 24日 広島県町村議長会臨時議長会(広島市)
- 27日 交通対策特別委員会
- 28日 竹原広域行政組合議会(竹原市)
- 28日 産業建設委員会
- 1日 大崎海星高校卒業式
- 1日 山田利明広島県議会議員の議員在職30周年を祝う会(広島市)
- 2日 議会運営委員会
- 8日 第1回定例会第1日目
- 9日 全員協議会
- 10日 町立中学校卒業式
- 11日 広島商船高等専門学校卒業証書授与式
- 14日 議会運営委員会
- 16日 第1回定例会第2日目
- 17日 第1回定例会第3日目
- 19日 大崎駅伝大会
- 20日 町内幼稚園卒園式
- 22日 第1回定例会第4日目
- 23日 町内小学校卒業式

編集後記



新メンバーによる議会広報誌を作り始めて一年になります。

3町が合併し色々な問題はありますが、やっと一つになったような気がします。

町内の高齢者が増えていくなかで、どこに力点を置いて行政運営をしていくのかを議会では一般質問を通してチェックをしています。議会広報は、住民と議会を結ぶ重要な役割をもっており、議会審議の内容をつぶさに、しかもより早くお知らせすることが使命と考えています。

「不言の言を聞く」という言葉を座右の銘として行動し、政治に携わるものは、民の声なき声に耳を傾けるのは当然であるという考え方で、町民に読まれ、親しめる広報誌を作っていきたいと思っています。

ご意見等ございましたら事務局までお知らせ下さい。

